

組合員専用WEBページ



4月からパスワードが変更されました



神奈川土建一般労働組合機関紙

神奈川土建ホームページ 検索

発行所
 神奈川土建一般労働組合
 〒221-0045 横浜市神奈川区
 神奈川2-19-3
 建設プラザかながわ
 ☎045(453)9806(代表)
 発行人 西川 智幸
 編集人 古溝 潤
 定価60円
 (神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

横断幕を掲げて登壇する建設アクションの仲間



3・6中央総決起行動 25春闘勝利へ!!

政治を変えて大幅賃上げ実現を

すべての労働者の大幅賃上げと底上げの実現を目指して、建設アクション、全労連・東京春闘共闘・全国食健連は3月6日、日比谷野外音楽堂で総決起集会を開催しました。全体で3000人、神奈川土建から67人が参加しました。集会終了後に国会議事堂までデモ行進を行い、請願署名を国会議員に手渡しました。

主催者を代表してあいさつした全労連の秋山正臣議長は、「私たちの運動が大幅賃上げが必要だ」という世論をつくり上げてきたことに確信を持つ」と訴えました。そして、社会保障関連費用を大幅に削減する一方で、軍事費の拡大に躍起になっている政府の姿勢を痛烈に批判。「社会を変えるために労働組合を強く大きくし、社会的な影響力を高めよう」と呼びかけました。



請願署名を受け取る国会議員団

建設の分野からは、首都圏の四土建と神奈川県建設労働連の他、京都、福岡、徳島からの参加を含む建設アクションの仲間が横断幕を掲げて登壇。代表として東京土建の中村隆幸執行委員長がマイクを握り、「一所懸命に働いて納税し、社会保険料を納めても生活は厳しくなるばかり。一方で防衛費は倍増され、国民負担増が強いられようとしている」とし、政治変革を目指す決意を力強く述べました。集会に参加した国会議員からは「大企業の内部留保の一部を使い中小企業への公的支援をすることで賃上げを実現する」「山下芳生参議院議員・共産、生活が苦しいのは政治の責任。働く皆さんを全力で応援する」「八幡愛衆院議員・れいわ」と連帯のあいさつがありました。



議員面会所で野党議員へエール

イエローアクション桜木町 物価高騰に負けない賃上げを!



処遇改善を訴える安川青年部長

建設にかかわる官民の労働組合で構成される建設首都圏共闘会議神奈川支部は3月13日、桜木町駅前広場で2025イエローアクションを開催し、建設労働者の大幅な賃上げと時間外労働の削減を求める宣伝行動を行いました。前日に公表された25年春闘の集中回答では、大手企業の電機や鉄鋼、重工が労働組合の賃上げ要求に「建設労働者の賃上げを減を求めるとは、生活インフラの維持や自然災害からの復旧が不可能になる」と処遇改善の必要性を訴えました。

求に満額で回答し、過去最高を更新する例も相次ぎました。一方で中小企業の賃上げは力強さを欠いており、大手企業との格差は縮まらない結果となりました。若者に選ばれる産業へ残された時間はわずか。建設産業で働く若者の立場からマイクを握った青年部長の安川宗さんは、神奈川県内には25歳以下の大工が560人しかいないことを示し、「建設産業が若者から選ばれなくなったら、生活インフラの維持や自然災害からの復旧が不可能になる」と処遇改善の必要性を訴えました。

2025春闘イエローアクション

賃上げのチャンス活かそう

神奈川土建も参加する建設関係労働組合首都圏共闘会議は2月28日、建設労働者の大幅賃上げと週休2日など時間外労働短縮を求める2025春闘イエローアクションの集会を衆議院第1議員会館で開催しました。集会後、国会議員約200人への要請とJR新橋駅前での宣伝行動を行いました。

建設技能者が不足 災害復旧に支障

神奈川建連青年協議長の狩野良夫さん(川崎中央支部)は、「能登の被災地にボランティアに行つたが建設業者が足りない。若い大工を増やさないといけない」と発言。集会後の国会議員要請で倉林議員に請願書を手渡す狩野さん(右)

大安吉日

「私は13人の敵(ロシア兵)を殺しました。でもそれは、普通に話し合える人たちだった。私はこの現実をどう受け止めていいのか解らない」これはウクライナの戦争で負傷し、日本で治療を受けている兵士の言葉です。普通に話し合える人とは、会議で意見を述べたり、居酒屋で酒を飲んで談笑できる人のことです。戦争は話せばわかる人たちが傷つけ、命を奪います。肩を組んで笑い合える人たちが殺し合うのです。日本は先の大戦以降、内戦を含め戦争をしていない数少ない国です。しかし、その誇りを捨て、戦争をしない国から戦争ができる国へ、そして今、戦争をする国へ変わろうとしています。戦争の先に石破政権の言う「楽しい日本」があるとは思えません。戦争は自然災害と違い、人間が始めることです。人間が止めることができるはず。身体や心を傷つけ命を奪う戦争はやめなければいけません。一人の力は微力ですが無力ではありません。今、自分ができることをやってみましょう。そして党派や団体を超えて連帯できれば、世界を動かすことができます。戦争のない平和な世界をめざして頑張りますよ。 横浜支部・齊藤 修

2025年3・1ビキニデー

被爆80年の今年に核兵器廃絶を

パートナーの会 平和運動部長 田村 寿里



集会エンディングで合唱する参加者

米国が南太平洋マーシャル諸島ビキニ環礁で行った水爆実験で、現地の島民や操業中の漁船員らに甚大な被害を与えたビキニ二被爆事件から71年となる「2025年3・1ビキニデー」が2月28日から3月1日まで静岡県内で開催されました。国際交流会議や7つの分科会、全体集会などの諸行事が行われ、被爆80年の今年を核兵器廃絶、非核平和の日本へ転換することを呼びかけました。神奈川土建から5人が参加。

第5分科会「原発ゼロ、気候危機打開、地球環境を守ろう」では、原発汚染の実態、気候危機の現状を学び、運動の交流が行われました。東京電力福島第1原発事故から14年。あの時の大惨事を忘れたかのように、未だに日本政府が原発再稼働に固執している現状が告



奥右から順番に厚木支部・津田書記長、建設労連・曾我担当書記と松本書記次長、厚木建築職組合・内藤組合長

神奈川県建設労働組合連合会は2月3日、厚木市と意見交換を行い、厚木支部から津田書記長が参加しました。厚木市からは各担当課長7人が対応。限られた時間でしたが厚木市側も協力的で議論が合ったテーマもありました。

産業振興と防災協定で前進 神建連 厚木市との意見交換

建設産業の担い手確保 処遇改善の具体化

厚木市が発注する工事へのCCUSカードリーダーの設置やレベル別目標水準による賃金支払いについては「国や他自治体の動向を注視して」と後ろ向きの回答でしたが、厚木市では既に公契約条約が制定されていることもあり、賃金単価の最終下請(一人親方)までの適正な賃金・単価の支払いを行う必要性への理解は十分されていると感じました。週休2日制もモデル工事で導入されています。

地域建設産業に対する 支援策の拡充

厚木市では住宅リフォーム制度は、過去に実施されていますが「緊急的な経済振興対策事業として行ったので再開は考えていない」との例年通りの回答でした。ただし、2018年から市外に居住する子世帯が厚木市内に居住する親世帯と同居するための改修費用の補助などを実施しているため制度の拡充を求めています。

脱炭素社会へ向けた 市の取り組み

厚木市では、近隣の自治体と比べて省エネルギー住宅やソーラー発電システムなどの省エネ設備の導入に対して多額の補助金制度を導入していま

発されました。

「特別企画 核兵器

禁止・廃絶をリードする日本へ」と題したパネル討論で、プロダイバーで環境活動家の武本匡弘さんは、核兵器による環境破壊や健康被害が将来にわたって影響をおよぼしている現状を訴え、「戦争とは人類だけでなく地球そのものの破壊であることを忘れてはならない」と語りました。また、「人間は犯した過ちを修正することができる」と展望を示しました。

第54期役員選挙告示

神奈川土建一般労働組合役員選考規定に基づき、第54期中央役員選挙の立候補受付を下記のとおり実施する。

立候補する者は、所定の用紙に必要事項を記入し、4月14日(月)午前9時から4月23日(水)正午までに選挙管理委員会(神奈川土建本部)に届け出るものとする。但し、立候補受付は9時から17時までとし、土日、祝日の受付は行わない。

- 1、第54期中央役員定数
- 中央執行委員長 1人
- 中央副執行委員長 4人
- 書記長 1人
- 書記次長 4人
- 常任中央執行委員 10人
- 中央執行委員 56人
- 会計監査 3人

尚、役員定数は第644回中央執行委員会の決定に基づくものである。

2025年4月1日
選挙管理委員長

神奈川土建一般労働組合 第54回定期大会告示

組合同規約第4章16条に基づき、神奈川土建一般労働組合第54回定期大会を告示する。

- 1、日時 5月11日(日)10時から
同 12日(月)16時まで
- 1、会場 熱海市「熱海後楽園ホテル」
- 1、代議員 ①2025年1月人員を基礎に95人に1人で282人(四役・常任中執21人を除く)
②全ての専門部分科会への参加を保障するため最低参加保証枠を設け、支部からの代議員・特別代議員を合わせて15人とする(最低参加保証枠の特別代議員は58人)
③支部が任意で追加する特別代議員の上限は設けない
④1日目は少人数の分散会、2日目に11分科会を開催

2025年4月1日
中央執行委員長 益田 修次

す(国や県との助成金と併給可)。懇談の中で「県産材を使った補助金制度を利用したリフォームや太陽光パネルなどの設置ができる信頼できる施工業者を紹介してほしい」との相談を市民から受けた際に、地元組合の紹介が可能との回答を得ました。今後、具体化に向けて

た検討がされます。
防災と安全を守る
具体的な取り組み

2004年に厚木建築職組合と「災害時における厚木建築職組合への協力要請に関する協定」を結んでいます。締結後に話し合いの場を持つておらず、かなりの年数が

たっていることから、協定の内容を改めて協議する場を設ける事となりました。協定を確認する際に、多くの自治体の防災協定が3者協定となっていることから、厚木支部も加えての協定締結を要請しました。



事業所の仲間とバスツアー「横浜中央

3月16日、春の拡大月間中間決起集会として「いちご狩りバスツアー」を開催。120人が参加しました。支部組合員の6割以上が事業所従業員で占めており、健保適用除外を利用するために事業所ごと組合に加入している方が多数です。そのため組合員一人ひとりが組合に所属しているという意識がもてないまま、組合を離れる仲間が多くなりました。事業所従業員の仲間に神奈川土建と支部の存在を感じてもらうために、事業所従業員の組合員にDMを送ってバスツアーへの参加を呼びかけたところ、家族を含めて予想を上回る約40人の仲間が参加してくれました。



新しい仲間と親交深める

楽しめました。またツアーの中で、これまで電話やメールでしかやり取りのなかった組合員と顔を合わせ、対話を広げることができました。

悪天候に涙をのむも…「湘南」

3月16日、茅ヶ崎里山パーベキュー場での組織拡大月間「中盤決起集会」の開催を計画し、166人の仲間から参加申込がありました。参加者の多くは、たくさんの仲間と交流できるパーベキュー大会を心待ちにしていました。しかし、当日の天気予報は、気温6度、降水確率は100%、風速8~9メートルと最悪の天候。参加者の安全性を考えて、泣く泣く中止を決めました。支部の決起集会は中止となりましたが、綾瀬中央分會、綾瀬南分會、善行分會の一部は個別に中盤決起集会を開催。拡大目標達成に向けて意思統一しました。



雨にも負けず分會決起集会

は中止となりましたが、綾瀬中央分會、綾瀬南分會、善行分會の一部は個別に中盤決起集会を開催。拡大目標達成に向けて意思統一しました。

(真地 あゆみ記)

活動を通じて出会った新しいつながり



建設を明日へつなげる者たち
Next Generation S
73

南横浜支部
山口 英朗さん
41歳 (配管設備)

南横浜支部の次世代を担う希望の星、支部後継者対策委員長の山口英朗さんを紹介いたします。

地方で訪問販売の営業をしていた山口さんは、20歳で地元横浜へ帰省したことをきっかけに、バスケット仲間や友人でもあり、現在の配管設備事業所の社長のもとで働き始めました。建設業界に身を置く中で「現場に若手がいない限り、人員不足と物価の高騰に単価が追いついていない」と、強く身に染み込んでいると語り

ます。みなとみらいなど、横浜市を中心部にある西区をかかえる西分会所属です。その土地柄、企業群が多く、各事業所の持ち回りで分会の役員を選出していました。所属する事業所の順番で山口さんが支部の執行委員会に参加するようになり、支部

の役員としての1歩目を踏み出しました。食べ盛りの3人兄弟と妻の5人家族で組合のレクリエーションやイベントに参加するうちに運営にもかかわるようになりました。今では支部の旗ひらきやいちご狩り、地引き網などのイベントでは欠かすことのできない存在となっています。「2度の足の手術を通じて組合の総合共済や建設国保にはお世話になりました。組合活動を通して色々な職種の人と出会い、今までになかったつながりができている」と神奈川県建設の組合制度と組合活動、両方の魅力を自らの実体験を通じて語る姿に頼もしさを感じます。

記・光野書記

よこちゃん・むっくん & ガッチが行く やっぱり群会議



笑顔の絶えない群会議

今回参加した群会議は、厚木支部・南毛利妻田分会の合同群会議です。会場は市内の睦合南公民館。豊のきれいな和室にテーブルと座布団と

資料の中には、厚木支部念願の新事務所の内面も置いてあり、組合員さんが来るたびに分会長の川筋さんが立ち上がり、

この群会議の翌日は、いちご狩りのバスハイイクが予定されており、入念に最後の確認を行っていました。とても明日を楽しみにしている組合員さんの様子をうかがうことができました。

建材メーカーは給付基金に参加せよ A&Aマテリアル新社屋前で宣伝



案に未だ態度を明らかにしていないため、建設アスベスト訴訟統一本部と原告団は3月14日、新社屋前で宣伝を実施。神奈川県建設組合が支援しました。A&Aマテリアルの社員数人とガードマンが遠巻きに宣伝を眺めていましたが、申し入れに応じたことはありませんでした。また、通行人から建材メーカー訴訟に関する質問や問い合わせが数件寄せられました。

法改正へ機は熟した 給付金法改正を求めて院内集会

建設アスベスト訴訟全国連絡会と首都圏建設アスベスト訴訟統一本部・原告団・弁護団は3月10日、建設アスベスト訴訟の全面解決と給付金法の改正を求める集会を衆議院第一議員会館内で開催し、来賓や支援者など約200人が参加しました。野党から5党と1会派(立民、国民、れいわ、共産、社民、有志)が出席。与党からは議員秘書(公明)が代理出席しました。各党のあいさつでは、建材メーカー訴訟について、繰り返し法判断が下されていることから、「給付金法の改正は政治の責任」とし、超党派で早期解決を目指す展望が示されました。



拳を固める議員と支援者

厚文部が決起集会をけん引「平塚」厚生文化部主催の拡大中間決起集会BBQ大会を3月9日、組合事務所前で開催し、80人の仲間が参加しました。各分会の厚生文化部長が手分けをして、綿菓子、ポップコーン、生ビール、射的、輪投げ、ストラックアウトの模擬店が出されました。イベント初参加の仲間が多数で、子ども連れも多くて大変にぎわいのあるイベントとなりました。決起集会のラストには、大人向けビンゴ大会と子ども向け抽選会をおこないました。景品にはダイソン掃除機、カニ盛り合わせなど豪華賞品が並び、ビンゴ大会・抽選会も盛り上がりました。



迫力満点の化石展示

「鈴鹿かまぼこの里」でお土産を購入し、大満足の一日を満喫しました。



海の幸に舌鼓

早春の箱根路をめぐる「鎌倉豆葉」春の組織拡大月間の出陣式を兼ねて「箱根をめぐる日帰りバスツアー」を2月16日に開催。組合員・家族あわせて74人が参加しました。最初に向かったのは、「生命の星・地球博物館」です。神奈川を中心とした国内外の恐竜やマンモスの骨、化石などを見て回りました。次に向かったのは大涌谷。硫黄の匂いが香る大涌谷で集合写真を撮り、名物の黒たまごを味わいました。お昼は「小涌園ホテル」でランチバイキング。飲み放題、食べ放題のメニューを堪能しました。最後に、「鈴鹿かまぼこの里」でお土産を購入し、大満足の一日を満喫しました。

労働者の命と安全が最優先!

「大阪・関西万博宣伝」現場からのレポート

開幕が迫る大阪万博 建設現場で宣伝行動

4月13日の開幕が迫った大阪・関西万博。現場に従事する全国建設労働組合総連合・関西地方協議会(全建総連・関西地協)の仲間から「2月上旬



チラシを手渡す後藤部長(左)

旬より、一部海外パビリオンで24時間稼働の施工体制に入った」との情報が寄せられました。3月4日、労働者の命と安全を守るために、現場から大阪メトロ夢洲駅(ゆめしまえき)に向かう労働者に向けた宣伝行動に取

「いのち輝く」に準じた法令順守の徹底を!

工事の遅れの原因は着工時期の遅延と、建設業を取り巻く人手不足や物価高騰等が大きく影響しました。また、現場に女性用トイレがなく、現場入場前に車で済ませ、帰りまで我慢を強いられることも2月発売の週刊誌で報道されました。

24時間稼働の現場では、労使間で36協定が結ば

れ、交代制がとられているとは思いますが、労働時間の上限は2024年4月から改正労働基準法が適用されており、際限ない労働は許されません。現場労働者の命と健康を犠牲にすることは、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる万博施設建設ではあってはならないことです。

何かあったら組合へ労働者一人ひとりに

関西地協の呼びかけで首都圏の四土建と神奈川県建設労連、建設首都圏共闘会議、全建総連の総勢22人で駅前宣伝を実施。現場労働者から聞き取りを行いました。「高所作業でフルハーネス型墜落制止器具を



「何かあったら組合へ」の横断幕を掲げ宣伝



通報窓口へ報告改善を求める

着用していたが、フックをかける親綱も設置されていないので意味がなかった、「駐車場から現場までの距離が遠い。片道1キロ近く歩く」「完成した建物の保護ができておらず通路の移動や作業中にぶつかったり、へこんだりして破損してしまふことがあるが、放置されている」など労働環境の改善を求める声が上がりました。

関西地協の運動に連帯し、神奈川でも建設労働者の現場環境整備と適正な就業環境のために声をあげ続けます。

今月のテーマ

お腹周りの脂肪を落とすためには

冬が過ぎるとやはり気になるのはお腹周りです。お腹周りの脂肪には2種類あり、胃のあたりから出くる硬い脂肪は内臓脂肪、その周りを覆っている柔らかい脂肪は皮下脂肪で

チキンよりもおにぎりを

最初に気を付けたいのが飲み物です。とにかく水分は糖分が含まれていないものにします。甘い飲み物に要注意です。野菜ジュースも甘ければ糖分が含まれています。次に気を付けたいのが油です。出来れば揚げ物は控

筋肉は裏切らない

そして運動です。筋トレや走るのハードルが高い方は、早歩きでも十分効果があります。歩いて少し汗をかき程度にどんどん動きましょ。筋肉は重いので体重はすぐには減りませんが、お腹周りは確実に減っていきま



市川可奈子保健師の

健康の

ススメ

お腹が空いたら揚げたチキンよりもおにぎりを

ん。

書記局員募集

■募集対象

建設労働者の賃金・労働条件の改善運動等に熱意のある方
デスクワークや事務処理に長けた方、または経験者

■給与

基本賃金(年齢給・勤続給*1年経過後より)、年2回定期昇給

例) 25歳で入局の場合

年齢給205,920円+書記局手当65,900円 賞与年2回 *査定あり

その他、書記局手当(みなし残業手当)・時間外手当・通勤手当・扶養手当

■応募方法

履歴書と職務経歴書を「本部採用担当者宛」に郵送
詳細は毎月配布された募集チラシをご覧になるか、組合事務所におたずねください。

技術センターだより

資格講習会のご案内

神奈川土建の講習

●熱中症予防労働衛生教育 指導員・管理者

(受講料: 6,000円、休憩を除く4.5時間講習)

6月8日(日) 会場: 川崎中央支部

6月15日(日) 会場: 建設プラザかながわ

●有機溶剤作業主任者技能講習

(受講料: 14,000円、休憩を除く13時間講習)

7月13日(日)~14(月)

会場: 建設プラザかながわ

●足場の組立て等作業主任者技能講習

(受講料: 10,000円、休憩を除く14時間講習)

7月19日(土)~20日(日)

会場: 建設プラザかながわ

神奈川建設労連の講習

※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。

●足場の組立て等 特別教育

(受講料: 7,000円、休憩を除く6時間講習)

5月14日(水)

会場: 建設プラザかながわ

●玉掛け技能講習

(受講料: 29,000円 資格保持者25,000円)

5月17日(土)~19日(月)

会場: PCT神奈川教習所(学科・実技)

●丸のこ等取扱い作業従事者教育

(受講料: 6,000円、休憩を除く4時間講習)

5月22日(木)

会場: 建設プラザかながわ

●刈払機取扱作業安全衛生教育「学科のみ」

(受講料: 14,000円、休憩を除く6時間講習)

5月29日(木)

会場: 建設プラザかながわ

その他の提携講習機関

PCT神奈川教習所(旧: IHI技術教習所) コマツ教習所 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

青年部マル得援助金のお知らせ

青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

申し込み、問合せは所属する支部事務所へ

☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。無帽、無背景、上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪、顎の見切れは受付不可)

☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。

☆日程変更や中止になる場合もあることをご留意ください。

☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。

※募集の締切りは開催日2週前の平日に当センター必着です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに提出してください。

※作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。